

北海道情報大学広報誌

となかまど

2017 (H29) 年 7 月 20 日発行

VOL
68

北海道情報大学紀要 28-2

建学の理念・使命・教育目的

HIU Vision 2020

学長と学生の対談

平成29年度 入学式

新入生 宿泊研修 報告

平成28年度 学位記授与式

卒業祝賀会

新任教員の紹介

ふらっとみんなでお昼ごはんの会

保護者の会 役員会

食生活改善運動

体育祭報告

日中学生文化交流会

札幌国際短編映画祭 5年連続入選!!

ゼミ紹介

公開セミナー「ミステリー×札幌」

図書館賞 表彰式

南京での卒業生の結婚式に参加して

電子開発学園 平成28年度決算の概要

大学主要行事など〈2月1日~6月30日〉

平成29年度 HIU カレンダー

となかまど編集隊

Johodai

北海道情報大学広報誌 ななかまど

2017 (H29) 年 7 月 20 日

CONTENTS — もくじ

VOL. 68

01	表紙
02	目次 北海道情報大学紀要 28-2
03	建学の理念・使命・教育目的 HIU Vision 2020
04-05	学長に何でも聞いてちょう! Vol.6 学長と学生の対談
06	平成29年度 入学式
07	新入生 宿泊研修 報告
08	平成28年度 学位記授与式
09	卒業祝賀会
10-11	新任教員の紹介 情報メディア学科 金銀珠准教授 医療情報学科 本間直幸准教授
12	ふらっとみんなでお昼ごはんの会
13	保護者の会役員会 食生活改善運動 「1 コイン朝食」
14-15	体育祭報告
16-17	日中学生文化交流会
18-19	札幌国際短編映画祭 5年連続入選!!
20-21	ゼミ紹介 先端経営学科 小走ゼミ システム情報学科 齋藤ゼミ 医療情報学科 上杉ゼミ 情報メディア学科 大島ゼミ
22	公開セミナー「ミステリー×札幌」
23	図書館賞 表彰式
24-25	南京での卒業生の結婚式に参加して
26-28	電子開発学園 平成28年度決算の概要
29-30	大学主要行事など<2月1日~6月30日>
31	平成29年度 HIU カレンダー
32	ななかまど編集隊 Vol.68

北海道情報大学 紀要 28-2

北海道情報大学紀要 (Memoirs of Hokkaido Information University) は、北海道情報大学が年2回定期的に刊行する学術誌です。これは、本学における教育研究活動の成果を学内外に広く公表することを目的としており、論文の他、解説、研究ノート、制作ノート、資料、報告などを掲載しています。本学のホームページにて公開しておりますので、内容をご覧になりたい場合は、右記の URL または QR コードをご利用ください。

《 論 文 》

- 統合型 GIS 導入率と自治体属性との関係に関する統計分析
藤本 直樹 向原 強
- 類義副詞「絶対」「ぜひ」について
手続きの意味の共通性から
田中 里実
- 知的障害児の身体協応性における指導効果に関する研究～自立活動の継続的な取組を通して～
五浦 哲也

《 研究ノート 》

- 辞書編集における見出し語の選定に関する一考察
斉藤 康彦

●学生定期健康診断の結果

—2015年、2016年の報告—
柳沢 佳子 蔵本 信比古 前田 好章
佐藤 浩樹 西平 順 佐藤 裕二

- 公立病院改革プランの北海道自治体病院経営に影響を与えた因子の解析
廣川 耀介 高橋 文

《 報 告 》

- 北海道情報大学の学生の健康行動と e ヘル
スリテラシー
奥村 昌子 酒井 雅裕 西平 順



http://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou_28_2.html

建学の理念・使命・教育目的

建学の理念

「情報化社会の新しい大学と学問の創造」

北海道情報大学は、平成元年に我が国の情報化社会の黎明期に情報教育の新しい扉を拓いた、学園創立者松尾三郎博士によって、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念として開学した大学です。

本学の使命・目標

IT社会の到来を告げる国際情報化の幕開けに先駆け、「情報」を大学名に取り入れて開学した北海道情報大学は、「産学協同の精神の下、豊かな国際性、創造力ある人間性を涵養し、実学に裏付けられた実践的な専門教育を通して、我が国の国際情報通信社会の進展に貢献する高度情報通信技術者を育成する」ことを使命としています。

本学は、北海道開拓のシンボル・野幌原生林の豊かな自然につつまれたキャンパスを研究・教育の創造的なふれあいの場として、あるいは先端的な通信教育により全国に展開されている学びの場において、「情報」を核にその応用範囲を広げていく「情報の総合大学」としてIT社会の発展に寄与するために、以下のような機能を果たすことを目標としています。

- ・情報を核とする高度な専門職業人養成機能
- ・国際性と豊かな人間性を育む教養教育機能
- ・情報に関わる通信教育の拠点機能
- ・地域貢献・産学連携機能

教育目的

21世紀において、われわれを取り巻くすべての社会構造は今やIT抜きでは成り立ちません。このような状況に鑑み、本学の教育では、明日の高度情報通信社会の担い手にふさわしい情報技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識の習得に裏打ちされた高度IT技術者を育成することを目標に掲げています。また、国際情報化に適切できる国際性豊かな人材、情報に付加価値を生み出す幅広い教養、感受性、モラル、コミュニケーション能力を備えた人間性に優れた人材を育成することを目指しています。

- ・生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力を育成する自己啓発教育
- ・IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識を身につける実践教育
- ・国際感覚やモラルなど豊かな人間性を養う人格教育
- ・コミュニケーションとプレゼンテーション能力を涵養する自己表現啓発教育
- ・自ら問題を見つけ出し、その解決のために自身で工夫できる問題発見・解決能力育成教育
- ・知識のみではなく生きるための知恵を啓発する全人教育

HIU Vision 2020

- ・建学の理念：情報化社会の新しい大学と学問の創造
- ・ミッション：Quality First ー教育の質を向上させ、主体性を持った高度ITプロフェッショナルの育成を目指すー

入口戦略

- ・現行制度、システムの維持・改善
- ・学部・学科の入学定員と入学者数のバランス調整
- ・臨床工学分野の設置
- ・女子学生の確保
- ・留学生の確保（国際化戦略）
- ・社会人学生の確保
- ・iPad 出前授業の推進
- ・外部研究費、寄附金の確保

教育・研究戦略

- ・コンピテンシーに基づくカリキュラム編成
- ・高度な ICT 教育環境の構築
POLITE, CANVAS、主体的学び iPad 等
- ・スマートキャンパス化
IoT、ビッグデータ、見える化
- ・HIU教育モデルの構築
ピラミッド的序列から抜け出す問題解決型の人材育成、倫理教育の実践
- ・少人数教育
- ・eラーニング（通信教育）の拡充
- ・研究機能と大学院の充実
博士課程への道筋を立てる

出口戦略

- ・IoTを活用した学生・教員・学生サポートセンターの連絡網確立による就活支援
- ・起業支援
- ・産学官研連携によるインターンシップの推進
専門教育との関連付けにより一層効果を発揮する コーオプ教育プログラム（大学での授業と企業での実践的な就業体験を繰り返すプログラム）

学長に何でも聞いちゃおう！ Vol.6

第6回目の「学長に何でも聞いちゃおう！」のコーナー。お昼休みに各学部の学生6人が集り、澤井学長と座談会を行いました。最初はみんな緊張気味でしたが、学長のトークに終始笑いが飛び交いました！

(編集・デザイン 阿部 将秀)



今回参加した学生



経営情報学部3年
宮本 紘大



医療情報学部3年
田崎 満理奈



医療情報学部3年
中渡 優花



情報メディア学部2年
森 彩



情報メディア学部3年
鳴海 葵



情報メディア学部4年
諸岡 健吾

座談会はじまり！

諸岡「さっそくですが、僕から質問です！学長が合気道をやられていると聞きまして…！僕も中学校のときに空手をやっていて、武道の楽しさは知っているつもりなのですが、合気道の良さってどういう所にありますか？」

学長「合気道はまず、試合がないんですよ！空手は型で試合を行うでしょ。大体の格闘技は試合をやるよね。合気道は試合がないんです！なぜだと思う？」

全員「うーん…何だろう？」

学長「合気道っていうのはね、自分から攻めない。相手から攻めてきたのを受けて反撃する。ていうのが合気道。だから、試合をやったらにらめっこになっちゃう(笑)」

全員「笑」

学長「合気道っていうのは逆手に取るっていうか、関節を決めるのがあるんだけど、実は関節を決める技はそん

なに多くなくて、どっちかというとなんか曲がる方向にもうちょっと曲げてあげるっていうのが合気道なんですよ。」

全員「そうなんだ！」

田崎「あんまり痛くなさそうですね。」

学長「これがね痛いんだよ。」

田崎「痛いですね(笑)怖い…。」

学長「あと、合気道の良いところはね、良いかどうかわからないけど、私は良いと思ったのが、合気道はさ男女一緒に稽古するの。」

全員「知らなかった！」

学長「だからね、若い女性も結構やってるんだ。世界中で広まってるからさ。合法的に若い女性の手首を掴めるのがね、合気道だよ(笑)」

全員「爆笑」



学長「その代わり投げ飛ばされるけどね(笑)」

諸岡「それは他の武道とは違いますね(笑)」

サイクリングのお話

学長「私はサイクリングやるんだけど、奥の細道を全部回ったことがあって、仲間とね15人くらいかな。どうやって回ったかという、奥の細道って全長どのくらいあるか知ってる？東京の深川からスタートして最後は大垣まで。東北回って北陸回って2,400kmあるんですよ。」

全員「えーっ！！(驚)」

学長「一度に回ったわけじゃないよ！そんな一度に回ってたら会社クビになっちゃう(笑)」

全員「笑」

学長「だから、だいたい1年に3回くらい5月の連休と夏休みと秋の3連休を利用して2泊か3泊で。輪行袋って

というのがあってね、サイクリング用の自転車ってタイヤをワンタッチで外せるんですよ。輪行袋に入れて、担いで新幹線で前に行ったところまで行って、そこからまた走って。また別の駅で新幹線に乗って帰ってくる。そして次はそこまでまた行って、その繰り返し。

それでね3年くらい掛けて。」

全員「すごい！」

学長「そのときは奥の細道だから夜、俳句を作るんですよ。」

全員「うなづく」

学長「句会ってというのは各自が大体2つか3つ短冊に書くんだけど、でもね



俳句がなかなか出てこない(笑)川柳なら出てくるんだけど俳句って難しいね。句会って俳句の「句」なんだけど、みんなで苦しいの「苦」って書いて苦会って言ってたよ(笑)」

全員「爆笑」

諸岡「川上ゼミも飲み会あるときに句会やるんですよ！で毎回お題が難しいのばかりなんですよ…『タオル』とか(笑)」

中渡「タオル!？」

宮本「やりづらい(笑)」

諸岡「評価する人も評価する人で厳しいときもあれば優しいときもあるんですよ！」

全員「笑」

海外について

鳴海「国際コラボレーションでタイに行くんですけど、海外に行くときにここは気をつけた方がいい所ってありますか？」

学長「海外はね、とにかく安全第一だね。危険な場所ってどこにだって必ずあるからさ。そういったところは絶対に近寄らない。ただ、近寄らないと思ってもよくわからないからさ、自分じゃ近寄るつもりなくても、そういった街中の危険なところに入っちゃう時もある。」

鳴海「僕も合気道やったほうがいいですかね。」

全員「爆笑」

学長「喧嘩したら勝てないよ(笑)相手がピストル持ってたら終わりだよ(笑)」

鳴海「そうか(笑)」

ストレス解消法

田崎「私今年3年生でして、もうそろそろ就活というキーワードが飛び交う時期なんです…。そこで、何か良いストレス解消法があればお聞きしたいなって思ってるんですけども。」

学長「それは、田崎さんにはたぶん向かないと思うけど…。私のストレス解消法はね、これなんですよ(笑)(お酒を飲むジェスチャー)」

田崎「あーなるほど(笑)」

学長「田崎さんはね。お酒って訳にはいかないから。まあ、多少はいいんだけどね、もちろん。だから後はね、体を動かすことがいいね。今みたいな季節の良い時は野幌の森林公園をずっと

歩いてきたり、冬場はねあまり外行けないじゃない、だからプール行ってます。」

全員「へー！」

学長「その野幌運動公園には50mプールあるの。」

田崎「知らなかった！」



学長「50mプールの真ん中辺は私なんか背が低いから、背が立たないんだよ。だから泳ぎ始めたら泳ぎきらないといけない(笑)」

全員「笑」

学長「でね、私は65歳以上だから。そこは65歳以上タダなんだ。」

鳴海「いいなー！」

学長「タダより安いものはないってね(笑)」

全員「笑」

学長「だから体動かすっていうのがやっぱりストレス解消にはね、私の場合は良いね。あとはこれね(お酒を飲むジェスチャー)」

全員「笑」

座談会を終えて

美味しいものを食べながらの学長との座談会でしたが、短い時間の中ですべて楽しいお話が聞けました！

学長、お忙しい中ありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします！

(撮影 江良周吾)

入学式

平成 29 年度 入学式 挙行

平成 29 年 4 月 5 日（水）午前 10 時から、本学松尾記念館講堂において、平成 29 年度北海道情報大学入学式を挙行了しました。

式の模様は、式場に設置されたテレビカメラにより、保護者室（211 教室、212 教室、213 教室）と全国にある通信教育部の各教育センターにも生中継され、多くの保護者や教職員に見守られる中、約 850 名の新入生が、北海道情報大学生としてスタートしました。

式場内では卒業生と保護者の方々、教員が一堂に揃い、厳粛なうちにも和やかな雰囲気の中行われました。

式の中では、入学生代表として西尾和真さん（情報メディア学科）が、これからの学生生活の抱負について宣誓しました。

式終了後には、入学生と保護者に対して、建学の理念及び本学の開学に至った経緯等について知っていただくためのビデオ上映を行い、その後は、場所を教室に移し、学科・専攻ごとに分かれて入学生・保護者・クラス担任の顔合わせを兼ねた学科等別ミーティングが行われました。

（総務課）



↑ 入学生代表の西尾和真さん

- 一、修 礼
- 一、閉式 の 辞
- （ 宣 誓 ）
- 一、入 学 生 代 表 の 言 葉
- 一、教 員 紹 介
- 一、祝 辞 ・ 祝 電 披 露
- 一、理 事 長 祝 辞
- 一、学 長 告 辞
- 一、開 式 の 辞
- 一、修 礼

式次第

平成 29 年度 新入生の宿泊研修を実施

平成 29 年度に入学した新入生は、4 月 5 日（水）の入学式の翌日から 5 日間のスタートアッププログラム内に宿泊研修が組み込まれており、4 月 10 日（月）と 4 月 11 日（火）に実施しました。宿泊研修の意味付けは、クラス担任とのコミュニケーションと友達作りです。

4 月 10 日（月）午前中に松尾記念館講堂でクラブ紹介を行い、午後から川上学生部長より宿泊研修の意義と学生生活上の諸注意についてお話しいただいた後、クラス担任と共にバスで宿泊先の定山溪万世閣ホテルミリオネに移動しました。

その後、クラス別の部屋でミーティングを行い、学部別に夕食と入浴の後、大広間（原生林）において、全体会



今回、10 名が不参加となりましたが、特に大きなトラブルもなく、アンケート集計から判断し、一番の目的であるクラス担任とのコミュニケーションと友達作りはできたと思います。



（学長、学生部長、クラス担任及び学生実行委員の自己紹介）を行い、先輩とのよろず相談（学生実行委員による何でも相談、森川先生によるゼミ発表）を実施し、消灯・就寝しました。

4 月 11 日（火）は、前日使用した部屋でクラス毎のミーティングを行った後、バスで大学に戻り、宿泊研修は終了しました。

次年度も継続し宿泊研修を実施しますが、反省点もあり、今後少しずつ改善したいと思います。関係者のみなさま、本当にありがとうございました。

（学生サポートセンター）



宿泊研修報告



平成 28 年度学位記授与式



平成 29 年 3 月 16 日 (木) 10 時から
本学松尾記念館講堂において、平成
28 年度北海道情報大学学位記授与式
を挙りました。



経営情報学部は第25回、医療情報学
部は第1回、情報メディア学部は第13
回、通信教育部は第20回、大学院も第
20回となる合同で行われた学位記授与
式の模様は、会場に設置されたテレビ
カメラにより、保護者室の211教室や
全国の通信教育部各教育センターにも
同時中継されました。

式は、厳粛なうちにも和やかな雰囲気
のなか行われ、特に賞状授与では、
参加者全員が拍手をするなど、祝賀
ムードに包まれていました。

式終了後には、卒業アルバムに掲載
する卒業記念写真の撮影を行い、その
後、学科等別の学位記授与、体育館で
の卒業祝賀会と続きました。学位記を
手にした卒業生・修了生たちは、大学
との別れを惜しんでいました。

●卒業生

- ・経営情報学部
 - 先端経営学科……………47 名
 - システム情報学科……………76 名
- ・医療情報学部
 - 医療情報学科 …………… 47 名
- ・情報メディア学部
 - 情報メディア学科 ……………154 名
- ・経営情報学部 通信教育部
 - 経営学科・経営ネットワーク学科
……………35 名
 - 情報学科・システム情報学科
……………335 名

●修了生

- ・経営情報学研究所…………… 3 名
(総務課)



- 式次第
- 一、修礼
 - 一、開式の辞
 - 一、学位記授与
 - 一、学長告辞
 - 一、理事長祝辞
 - 一、祝辞・祝電披露
 - 一、賞状授与
 - 一、卒業生・修了生答辞
 - 一、閉式の辞
 - 一、修礼

北海道情報大学卒業祝賀会



平成 29 年 3 月 16 日（木）の学位記授与式の後 13 時 30 分から、本学体育館において、平成 28 年度北海道情報大学卒業生、修了生祝賀会が行われました。

はじめに富士前学長から挨拶をいただき、続いて同窓会の木下事務局長から今後の同窓生としての行事などへの参加要請などがあり、澤井前副学長の音頭で乾杯しました。

会場には、飲み物、食べ物が並び、麺類や各種の料理をその場で作る屋台もあり、おいしい料理をいただきながらの歓談となりました。



卒業生と教職員の他、卒業生の保護者のみなさん、先輩を見送る 3 年生も数多く参加、特にゼミごとに盛り上がっていました。



女子の卒業生は振り袖に袴姿が多く、みんなで最後の集合写真を撮って別れを惜しんでいました。卒業生、修了生のみなさん！これからも北海道情報大学のことを忘れずに、いつでも大学に遊びに来てくださいね！（編集部）



グローバル社会を生きる

情報メディア学部 情報メディア学科 准教授

きむ うんじゅ
金 銀珠

先生の学内プロフィール

研究分野

日本語学・日本語教育
韓国語学・韓国語教育
日韓対照言語学

担当する授業

日本語表現Ⅰ・日本語表現Ⅱ
ビギナーズセミナーⅠ
ビギナーズセミナーⅡ

研究室 319 研究室



本年4月より情報メディア学科に着任しました金銀珠です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は韓国の大邱（テグ）市出身で、今年で来日22年目になります。私が日本に来たのは、「日本語の響き」にマジカルな魅力を感じたことがきっかけです。日本への留学を決意する前に、旅行で一度日本に来たことがありますが、その当時の私は、日本語が全く話せませんでした。メロディーのように聞こえてくる日本語がとても新鮮で、特に、「そう、そう、そう」というあいづち表現を耳にしたときは、「なんて美しい響きなんだろう」と、何とも言えない感情がこみ上げてきたのを覚えています。来日して初めて感じたこの美しい日本語の響きは、長い年月が経った今でも私の耳に残っています。

来日後は、約9年間、東京で歯科技工や法学などの勉強をしていました。その後、専門が言語学に変わり、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院に進学することになりました。大学院修了後は、同大学院メディア・コ

ミュニケーション研究院の연구원として、日本語と韓国語における諸言語現象の解明に向けた研究活動を行ってきました。最近では、多層言語社会の到来に備えて、人材育成を活発化することを目的とした東アジア、さらには全世界を対象とする国際協学プログラムの開発に取り組んでいます。

研究に携わる傍ら、札幌市内の複数の大学で日本語教育及び韓国語教育にも従事しました。これまでの教育経験を生かすべく、北海道情報大学では現在、日本語表現の授業の他に、「ゼミとして開設している韓国語の授業も担当しています。」ゼミは単位にはなりませんが、韓国語や韓国文化に興味のある方は、自己啓発のためにも是非参加していただきたいと思います。

経済のグローバル化が極度に進む昨今、企業では、グローバル社会に対応した高度なスキルを有する人材が求められるようになりました。こうした背景の中、日本の企業では、日本人のみならず、海外からも優秀な人材を受け入れる体制に変わりつつあります。そ

のため、受身的でコレといった専門スキルを有していない人は、競争の激しいグローバル社会で生き残ることが難しい時代になってきたのも事実です。

こうした事態を受け、日本の政府は、語学力のみならず、コミュニケーション能力、主体性、国際的視野などを併せ持つ、グローバル人材の育成に一層力を注いでいます。授業では、学生の皆さん一人ひとりがこのような資質を身につけ、グローバル社会で大いに活躍できるよう、これから全力でサポートしていきたくと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



社会に科学の橋を架けよう！

医療情報学部 医療情報学科 准教授

ほんま 本間
なおゆき 直幸

先生の学内プロフィール

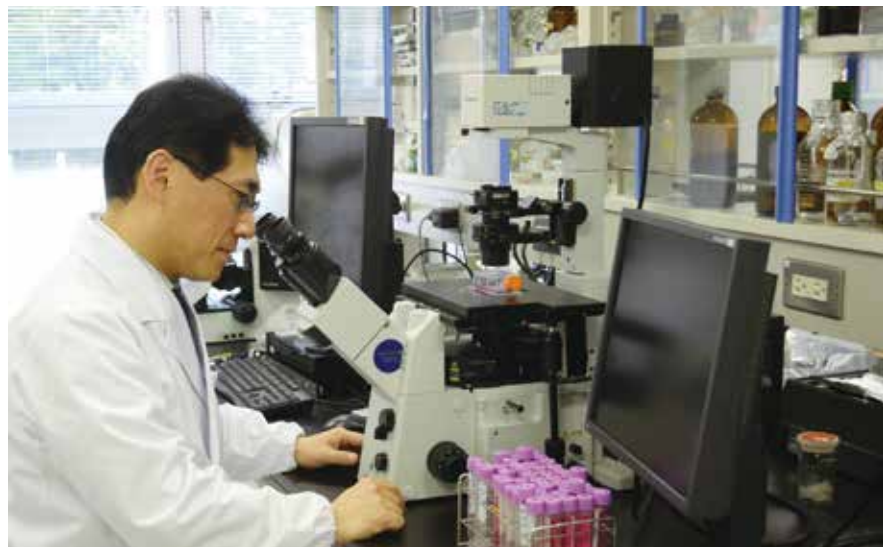
研究分野

生物科学
健康科学
科学教育

担当する授業

生物学・生物学II
生理学・分子生物学
バイオテクノロジー実習

研究室 119 研究室



みなさん、こんにちは。本年4月から医療情報学部に着任しました本間直幸です。私は北海道帯広生まれの札幌育ち。大学以降の十数年は東京をはじめ首都圏での生活が続きましたが、10年前に札幌に戻り、現在に至ります。

私のこれまでの活動について少し振り返ってみますと、大学時代（大学院を含む）は神経細胞を用いて主に細胞死（アポトーシス）に関する研究を行っていました。社会に出てからは、大手総合化学企業（製薬部門）では生物製剤の開発・薬事申請に、外資系バイオ企業においては、研究試薬の開発や学術活動に携わっていました。立場は変われど、基本的には「生命科学」に、さまざまな視点から関わっていたと言えるかと思います。ちょうど、外資系企業に在籍していた頃ですが、社会では大学と企業の「共同研究」が盛んに行われるようになりました。私もそのうねりの中で仕事をしましたが、この活動がきっかけとなり、北海道に戻ることに became したのです。現在ではこうした活動は、「産学連携」と普通に表現されるようになりましたが、これか

ら社会に飛び出していくみなさんにとって、「産学連携」はもっと身近なものになるでしょう。それは、現代社会には一人では解決できない課題が次々と生まれていると言われていたからです。私もこれまでの経験を生かし、みなさんが少しでも早く社会を知ることができるよう支援していきたいと思っています。

次に北海道に戻ってからの10年です。ここでは文部科学省の事業に従事するのですが、大学等の研究成果を産業や社会に繋ぐことが大きな役割となりました。そこで感じたことは、同じ日本人でも分野が異なる人には必ずしも自分の言葉が伝わらないこと。特に「科学」は専門的な表現が多く、相手に理解してもらうためには「翻訳」が必要であるということでした。みなさんは「サイエンスコミュニケーション (SC)」をご存知でしょうか？ SC は「科学を分かりやすく一般市民に伝える手段・手法」といえます。私にとって SC を実践することは、産学連携を円滑に進める上で、とても重要な体験でした。これからみなさんが多様化する社会で活躍するためにも、この SC は

是非とも身につけて欲しいスキルのひとつです。

現在、私は「健康食品管理士」としての活動も行っています。健康食品管理士は、健康食品による健康被害が後を絶たないという社会的課題を解決すべく、国（厚生労働省）からその養成が求められた公的な資格です。本学はこの健康食品管理士の認定校になっており、在学中に受験資格を得ることができます。皆さんには是非、社会的にもニーズの高いこの資格を取得され、実社会で活躍して欲しいと願っています。

私が歩んできた生命科学の道は、北海道情報大学へとつながり、ここから更にまだ見ぬ社会へと続いていきます。科学を社会に役立てるために、一緒に橋を架けにいきませんか。



ふらっとみんなでお昼ごはんの会

～食は人と人をつなぐカギ～

5月と6月に女子学生を対象とした食のイベント「ふらっとみんなでお昼ごはんの会」を実施しました。

本学の学生全体に占める女性の割合はおよそ13%（平成29年6月現在）と少ないのが現状です。そのため、友達づくりもなかなか容易ではありません。そこで、女子学生の横のつながりだけでなく、縦のつながりもつくれるような交流の場を持つことを目的とした企画「ふらっとみんなでお昼ごはんの会」を実施しました。参加者は、1回目17名、2回目15名と、両日とも経営情報学部、医療情報学部、メディア情報学部の3学部から女子学生が集まりました。

メニューは「江別産の美味しい食材を楽しむ」をテーマに、1回目が「豆腐のお好み焼き」、2回目が「朝もぎの

新鮮野菜のサラダと簡単パン」としました。小麦粉、豆腐、たまご、ブロッコリー、きゅうり、レタス、アイスプラント、食べられるお花など、地元江別産の食材で作ること、食べることの両方が楽しめるメニューです。大学近くの産直市場で購入できる新鮮野菜や江別の食品加工業者（株）オシキリ食品様がご提供くださった作りたての豆腐やもやしをお好み焼きやサラダに使用しました。学生たちは、地元の野菜のおいしさや道産大豆の豆腐のおいしさに皆大はしゃぎ。江別が食材の宝庫であり、食品を加工する企業も多いということを知らない学生も多く、料理が地域のおいしい魅力に気づききっかけにもなったようです。

2回目に実施したアンケートでは、たくさんの「美味しかった」という声

とともに、「簡単にパンが作れてびっくり」「野菜がシャキシャキで美味しかった」「こんなに野菜を食べたのは久しぶり」など、料理の作り方や食材、自分の食生活に関する感想も多かったです。また「女の子がたくさん楽しかった」「もう少し話したかった」「女子会が次回で終わりは寂しい」など、楽しい交流の時間を過ごせたようでした。「食は人と人をつなぐ」とよく言われます。「ふらっとみんなでお昼ごはん」は、料理が学生と学生をつなぎ、さらに食材を通して学生と地元の農家さんや食品加工業者さんをつなぐ機会となりました。7月は「野菜たっぷり焼きそば」を予定しています。

報告者 医療情報学部 奥村昌子



● ● ● レシピのおすそわけ おうちでも作ってみよう！豆腐のお好み焼き（2枚分） ● ● ●

- ①生地をつくる：ボールにたまご1個、だし汁100ml（水にだしの素でもOK）を入れて混ぜ、小麦粉カップ1（100g）、豆腐1/3丁（100g）をつぶしながら入れて、混ぜる。
 - ②具材を切る&混ぜる：キャベツ1/4個を刻んで①と混ぜる。もやしやネギ、チーズや揚げ玉、お肉はお好みで。
 - ③焼く：フライパンにサラダ油を入れて熱する。生地を丸くなるように入れて、中火で生地がフライ返しで動かせるくらいになるまで焼く（5分くらい）。ひっくり返してもう一方の片面も焼いて、できあがり。
- ソース、マヨネーズ、かつお節、青のりをお好みでのせて、いただきます。



本学 eDC タワーで保護者の会役員会を実施

今年度第 1 回目の保護者の会役員会を 5 月 26 日（金）に、本学 eDC タワー 2 階カフェレストランにおいて開催しました。

開会にあたり、澤井学長から保護者の会に対するお礼を含めた挨拶と本学の現状等についての説明がありました。



その後、秋島会長より 1 年生の保護者から新規役員 5 名を選任し、出席者の自己紹介が行われました。

次いで大学からの現況・行事等の報告として、明神就職部長から平成 28 年度卒業生の就職率及び平成 29 年度学生の就職に関する心構えについて、川上学生部長から写真による平成 28 年度学位記授与式、平成 29

年度の入学式と宿泊研修について、学生サポートセンター事務室長から平成 29 年度の学内行事について説明がありました。

役員会終了後の懇親会においては、保護者の会役員の皆様と学生生活・就職活動状況などについて懇談が行われ、ご子息、ご息女にける期待と愛情のこもった話し合いに、瞬く間に時間が過ぎ、会を終了しました。



役員の皆様には、ご多忙にもかかわらずご出席いただき、貴重なご意見をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。（学生サポートセンター）



ワンコイン朝食

江別市に所在する 4 大学（本学、酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学）の共同企画「食生活改善運動 1 コイン（100 円）朝食」が 5 月 24 日から 26 日まで行われました。この運動も、今回で 18 回目（平成 20 年度から春・秋に

実施）を迎えました。朝食は、心身共に健康な学生生活を送るための基礎になります。しかし、親元から離れて生活していると、だんだん健全な食生活から離れ、朝食をとらないことで生活リズムが乱れたり、不規則な食生活が



原因で体調を崩してしまうケースも見受けられます。学生にきちんと朝食をとる習慣づけができればと 1 コイン（100 円）でこの運動を実施しています。（学生サポートセンター）



（和風メニュー）

- 5 月 24 日
- ・グリルチキン葱味噌ソース
 - ・五目巾着煮
 - ・厚焼き玉子
 - ・ほうれん草の胡麻和え
 - ・ご飯
 - ・味噌汁
 - ・ミニドラ焼き
 - ・牛乳またはオレンジジュース

5/24



（洋食メニュー）

- 5 月 25 日
- ・フライ盛合せ
 - ・ブレンオムレツ
 - ・コーンとベーコンのバターソース
 - ・スパゲティサラダ
 - ・ご飯
 - ・コンソメスープ
 - ・ヨーグルト
 - ・牛乳またはオレンジジュース

5/25



（中華メニュー）

- 5 月 26 日
- ・鶏の唐揚げマヨソースかけ
 - ・肉団子の酢豚風
 - ・春雨サラダ
 - ・ご飯
 - ・中華スープ
 - ・杏仁プリン
 - ・牛乳またはオレンジジュース

5/26



2017 北海道情報大学

体育祭



第27回体育祭が6月16日(金)17日(土)に開催されました。今年は前日まで天候が悪く、外競技の中止も検討しておりましたが、当日は天候に恵まれ、無事に競技とジンギスカン交流会を開催することができました。

今年の競技のスケジュールとしては、6月16日(金)には、ミニバレー、バドミントン、ソフトテニス、ソフトボールを行い、6月17日(土)には、ドッジボール、卓球、サッカー、綱引きを行いました。2日間の競技には合わせて約320人の学生の参加がありました。2日目に予定していたサッカーは、

参加チームが少なかったため、残念ながら競技を行うことはできませんでしたが、その他の競技はお互いに切磋琢磨し、優勝を目指して奮闘する姿を見ることができました。

競技結果

《 1日目競技 》

ミニバレー 優勝：「チーム底辺」準優勝：「ラブライバー特戦隊？」
バドミントン 優勝：「学生実行委員会」準優勝：「チーム髭」
ソフトテニス 優勝：「北海道尚志学園」準優勝：「島田ゼミテニス連盟」
ソフトボール 優勝：「情報大インキャーズ」準優勝：「ワイルドボアーズ」

《 2日目競技 》

ドッジボール 優勝：「食券パラダイス」
準優勝：「とあるフジモトのグングニル」
卓球 優勝：「傲慢ブラック少年」準優勝：「教職員チーム」
サッカー 優勝：「堀田乃部屋」
綱引き 優勝：「ボラ囲碁弓」



そして、6月17日(土)の16時30分からは、ジンギスカン交流会を行いました。ジンギスカン交流会とは、例年体育祭終了後、ジンギスカンを食べながら学生同士で交流ができる場です。競技に参加してない人でもジンギスカンを食べられるので、多くの方に



楽しんでいただけます。今年のジンギスカン交流会では、約130人の学生の参加がありました。各グループとも、体育祭での話題を話しながら、楽しそうにジンギスカンを食べている姿を見ることができました。

昨年は、雨でジンギスカン交流会を開催することができなかったので、今年は無事に開催することができ、とても嬉しく思いました。来年もジンギスカン交流会に沢山のご参加をお待ちしております。

今年も体育祭を無事に終えることができたのは、同窓会や教職員の皆様、各協議の審判を務めてくださった各部活サークルの皆様、学生実行委員会OBの皆様や現役の学生実行委員会生、そして何よりも体育祭に参加してくださった皆様の多大なるご協力の賜物です。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



これからも、体育祭を通して学生や教職員の方に楽しんでいただけるような体育祭を開催したいと思っておりますので、来年度以降も体育祭に沢山のご参加を宜しく願いいたします。

また、10月には蒼天祭が開催されます。今後は、蒼天祭に向けて学生実行委員会生一同努力してまいりますので、何とぞ一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

学生実行委員会
委員長 石丸 暢人

「第三回 日中学生文化交流会」を開催して

経営情報学部教授 玉置重俊

本学の外国人留学生委員会が主催する「第三回 日中学生文化交流会」は、今年の一月初四日（火）に、本学の二階会議室で開かれた。ここでは、その内容について、教職員と学生たちにいささか紹介したい。日本と中国における相互の文化交流の歴史が長いことは周知の事実であるが、ここ数年は、領土や歴史問題などに妨げられて、日中の政府間での親善・友好関係が改善されておらず、また、このことは日中の学生間の相互交流にも、やはり影響を与えかねない状況になっている。

したがって、この文化交流会を開催

した目的には、本学の留学生と日本人学生たちの率直な対話と交流を通して、相互に他国の文化や習慣をできるだけ尊重し、かつ友情と親睦も大いに促進させたいという願望が込められている。

今年も、本学の学生十三名と中国人留学生十一名が交流会に参加して、相互に自己紹介や簡単なお話しなどを試み、学生同士の交流と親睦をしっかりと深めたようである。交流会では、例年通り日本人学生には、できるだけ中国語を使用して、自己紹介と短期留学などの経験などを語ってもらい、反対に、



中国人留学生には、日本語を用いて、自己紹介や日本に来た感想や印象について、話してもらうという方法で進行させてみた。

したがって、日本人学生を選択する際には、筆者の初修外国語（中国語）の講義を履修している学生の中から、参加希望者を積極的に募集してみた。



中国人留学生たちは、本学の正式の一年生になる前の聴講生たちをほとんど全員参加させた。

交流会における具体的な内容だが、それぞれが相手に何とか通じる程度の言語表現で発表していたが、それでも、お互いが努力して、外国語で話そうとする情熱や楽しさ及び苦しさは、共通認識とし

て、共有できたように思われた。特に、中国人の留学生にとっては、ほとんど初めて聞く日本人学生たちの立派な中国語朗読には、かなり驚いた表情を見せていた。何人かの日本人学生たちは、中国人留学生たちから、素直なほめ言葉と驚きの声などを受けて、きっと自分の中国語に何かしらの誇りと自信を感じたことであろう。

会場には、国際交流・留学生支援課の方々も見学に来られ、参加者に、どら焼きやお菓子、お茶なども提供されたので、今年の文化交流会も、やはり有意義な異文化コミュニケーションの貴重なイベントとして、全員に楽しんでもらえたはずである。今後も、このようなささやかなイベントを通して、日中の学生の相互親睦交流を発展させて、庶民レベルでの日中間の友好親善の素晴らしい雰囲気を益々高めてゆきたい。

最後に、当日参加した学生と留学生の名簿を掲載しておくことにする。



氏名	学年	所属学科	テーマ
定平 聖人	1	医療情報	自己紹介、中国短期留学について
本多 彩華	1	医療情報	自己紹介
吉岡 美優	1	医療情報	自己紹介
久保内 良	2	情報メディア	自己紹介
佐藤 順風人	2	先端経営	自己紹介
松浦 智希	2	医療情報	自己紹介
田鎖 直也	2	情報メディア	自己紹介
新井田 大樹	2	情報メディア	自己紹介
鄭 そら	2	情報メディア	自己紹介
一戸 海翔	2	情報メディア	自己紹介
茅野 涼	3	情報メディア	自己紹介、中国短期留学について
三浦 大輝	4	情報メディア	自己紹介、中国短期留学について
森 北斗	4	医療情報	自己紹介
朱 高	聴講生		自己紹介と日本に来た感想
王 辰	聴講生		自己紹介と日本に来た感想
李 勁	聴講生		自己紹介と日本に来た感想
鄒 俊 淇	聴講生		自己紹介と日本に来た感想
謝 佩 君	聴講生		自己紹介と日本に来た感想
王 萌萌	聴講生		自己紹介と日本に来た感想
唐 馨 怡	聴講生		自己紹介と日本に来た感想
韓 伯 旻	聴講生		自己紹介と日本に来た感想
李 晨	3	先端経営	自己紹介、日本および本学での印象
洪 熙	4	情報メディア	自己紹介、日本および本学での印象
葛 鉄 男	2	先端経営	自己紹介、日本および本学での感想

Family Award
FISH EYE
2016

SAPPORO
INTERNATIONAL
SHORT FILM FESTIVAL
2016



撮影日：平成 28 年 4 月 8 日

札幌国際短編映画祭 5 年連続入選！！

島田ゼミ 8 期生制作 短編映画「おじいちゃんと少年 A」

情報メディア学科島田ゼミナールの 3 年生（平成 29 年卒業生）が中心となり制作してきた島田ゼミナール 8 期生後期課題制作の短編映画「おじいちゃんと少年 A」が第 11 回札幌国際短編映画祭のジャパン・オフィシアター部門に入選しました。この作品は 2015 年 10 月から 2016 年 3 月の期間に制作したものです。テーマは、「不条理」で、いじめにより孫を失ったおじいちゃんがいじめていた人物を探す話になっています。

監督の佐藤診よりコメント
「世の中には理不尽なことが溢れている。それによって引き起こされる悲劇について表現しようと考えました。この作品を同期と先輩方、本学および外部の協力者の皆様のおかげでぶじ完成させることができ、さらに目標であった札幌国際短編映画祭のジャパン・オフィシアター部門に入選することができました。皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。」

制作スタッフ

出演：三上勝由、船尾竜史
澤田満、澤田麻衣、佐藤診

プロデューサー：黒田優樹、森田佳祐
脚本・監督：佐藤診
助監督：富永剛広
撮影：洪熙
照明：吳中笑、大野翔平
録音：四ノ宮悠起、田嶋伸章
美術：中富奈津季
編集：四ノ宮悠起
制作：黒田優樹、森田佳祐、近藤真菜
アドバイザー：島田英二、山本龍広

＊企画開発

島田ゼミ 8 期生全員で 1 つの短編映画を制作するのは 2015 年 8 月に小樽で行われた小樽ショートフィルムセッションへの応募に続き、今回が 2 回目となりました。まず初めに、今までの札幌国際短編映画祭の受賞作品を研究し、みんなでどのような傾向の作品が多いかを話し合い、それぞれあらすじを考えてストーリーの方向性や脚本の制作を行いました。

＊撮影準備

撮影にあたり、撮影場所の決定、役者の出演交渉・オーディションなどは前回経験しているので首尾よく行くはずでしたが、一軒家や年配の方の俳優が見つからない等、問題も生じ、何度もスタッフ内で会議をし、問題点とそれに対する対応策を話し合いながら進めていきました。一軒家の方は大学の軽音部の部室を利用させていただき、年配の俳優は島田先生のお知り合いで北海道を代表するベテラン俳優の三上勝由さんに出演をお願いしたところ、なんと快く OK をいただきました。

＊撮影・編集

本作品の撮影は 2016 年の年始に行いました。撮影日は 2 日設けていましたが、予定した進行表からだいぶ遅れてしまい、当初予定していた撮影分を撮り切ることができなかったので、その部分を後日に撮ることにしました。早朝から雪の中で外撮影があり、あまりの寒さと大雪のため撮影中断が続き苦労しました。また、今回の撮影ではカメラをスライドさせる機材を初めて使用したのですが、思いどおりの映像撮影ができず何度もリテイクを行いました。それ以外にも様々な問題が生じましたが、手伝っていただいた先輩や OB の皆様の協力のおかげで乗り越えて行き、ぶじ撮影を終えることができました。その後は編集作業へ入り、MA（整音）、そして映画祭へ出品するために英語字幕を入れたりしました。他にも、例年行われている札幌市内の映画館・シアターキノでの作品上映会のため、館主の方との企画交渉、他のスタッフはフライヤーやチケットの制作、宣伝活動など全員で成功させるため活動し、ぶじ作品の上映会を開催することができました。

＊短編映画祭

今回制作を行った「おじいちゃんと少年 A」は第 11 回札幌国際短編映画祭のジャパン・オブシアター部門にて入選を果たすことができました。先輩方が過去 4 年連続で入選しており、かなりのプレッシャーがありました。企画段階から入選を目標とし制作を行ってきたため、ぶじ目標を達成することができて安心しました。私たちの代は先生がタイへの国外研修でそばにおらず、心細いことが多くありました。しかし、どんな時も助けてくれた先輩方の支えがあり、またなにより自分たちで行動することができる 8 期生のみんなを誇らしく思います。不甲斐ない私を支えてくれた同期のみんなには感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

末筆ながら、今回短編映画の制作にあたり協力していただいた企業の方々、俳優の方々、情報大学の教職員の方々、先輩・OB のの方々、そしてスタッフのすべての方々に感謝いたします。

情報メディア学部
メディアテクノロジー専攻
佐藤診（平成 29 年 3 月卒業）



小走ゼミ

経営情報学部 先端経営学科

小走ゼミは、昨年の 2016 年に開講されたゼミで1期生となる4年生6人、2期生の3年生も6人の計12名と先端経営学科としては人数が比較的多いゼミです(12人中女の子が1人だけで寂しいですが…)

ゼミでは主にインターネットを中心とした e-ビジネス関連の内容や最近の IoT の理解からデジタルビジネスの発展につながるソーシャル、モバイル、クラウドコンピューティング、ビッグデータなど北海道情報大学らしい経営について研究しています。また、ゼミの活動のほかに、学生たちと新歓や忘年会を企画し親睦を深めています。

3年生は現在、AIを理解するためにAIについて書かれた本を読んで要約して発表をしています。後期になると卒

業論文や就職活動などの対策として、やっておきたいことをゼミ生で話し合いをして後期のゼミのスケジュールを作ります。

4年生は就職活動中ということもあり、ゼミ生で就職活動の対策や反省などを話し合っています。そのほかには、卒業論文のテーマにつながる最近のニュースや e-ビジネスに関わる記事を要約して発表をしています。

小走安則教授は元 IBM の技術者で、



根っからの理系の人間のため先端経営学科では学べないことも勉強できます。また、ゼミのスケジュールは特に固まってないのでゼミ生がやりたいことを提案することができます。自由に勉強したい人や主体性がある人、高めたい人は小走ゼミと一緒に学びましょう。(文責・ゼミ4年山田雅俊)

上杉ゼミ

医療情報学部 医療情報学科



私の研究室では IT 技術の医療への応用を課題に取り組んでいる。最近では医療における仮想化技術や人工知能(AI)の応用がテーマである。仮想化について 2013 年から取り組み、最初は VMware に Windows と医療画像ビューワをインストールし CT 画像を 3D 再構成して iPad に表示する簡単なものであった。翌年に Xen サーバを構築し、学生の提案でクライアントに Raspberry Pi を用いて画像を表示させ

た。小さなコンピュータでぐるぐる回る 3D 画像を見て学生と共に感動した。最近のゼミのテーマは人工知能である。2015 年にゼミで AI の勉強を始め簡単な図形認識に取り組み、単純な図形の○、△と□を認識するアプリを作成し大学祭で展示した。また北海道大学病院との連携にも力を入れ、2013 年から医薬工連携プロジェクトでゼミ生を学術研究員として関わったのが最初で核医学読影レポートの分析結果を

行い医療情報学会で発表した。その後、毎年 1、2 名のゼミ生が連携に参画している。ゼミ生は病院の職員として臨時雇用され給与も支給され、実際の医療情報を使った研究で卒論を書くことができる。このような連携から学生の成長を見ることができる。2014 年から昨年までは AMED (日本医療研究開発機構) のプロジェクトでがん治療の可視化システムの開発を北大病院、札幌の医療 IT 企業と行い、本学の学生が重要な役割を担ってきた。病院との連携は情報技術を身につけ臨床医学に知識を持った本学の学生にとって成長の場である。今後は AI をテーマに医療機関との連携を続けていきたいと考えている。



齋藤ゼミ

経営情報学部 システム情報学科



情報システムに不可欠な技術であるデータベースと、我々の日常生活に不可欠なコミュニケーション手段である言語表現。どちらもどこにでもある空気のような存在ですが、両者を結びつけることで、情報通信の技術を超えた新しい世界が広がると考えています。そうした観点から、本ゼミでは、次のようなことを研究しています。

データベースと言語表現の関連から

連想されるものに辞書があります。紙の辞書は、厳密にはデータベースといえないかもしれませんが、電子化された辞書は、紛れもなくデータベースです。これまでの辞書の主な目的であった語の意味を調べることにとどまらない、データベースとしての辞書の楽しみ方を模索しています。

やや改まった言語表現として、創作活動があります。現代の作家の多くは、ワープロを使って小説を書いていると思いますが、データベースの利用についてはどうでしょうか。インターネットで情報検索しながらの執筆は、データベースの利用に近いといえます。それを推し進めると、人間ではなくコンピュータが小説を書く

ことが可能になるかもしれません。その実現に向けて、目下、人間とデータベースの連携による創作に挑戦しています。

本ゼミでは、グループワークによるモノ作りを通して、仕事のやり方を学ぶことを目指しています。3年生は、ツイッターの投稿から小説を生成するシステムの開発に取り組む予定です。4年生は、データベース技術を活用して図のような子供向けの絵本を制作するプロジェクトが進行中です。



大島ゼミ

情報メディア学部 情報メディア学科



大島ゼミは、映像メディア表現について幅広く制作・研究を行うゼミです。映像作品、アニメーション、映像を主体としたメディアアート作品等に興味のある学生はもちろん、漫画、絵画、写真等ヴィジュアル系の創作等に興味のある学生も集まっています。

多様な映像表現やこれからの映像を見据える為に、「今私たちが目にしている "映像" とは何か?」という課題から出発し、映画やアニメ、実験的な映像作品のコンセプトや表現方法に着

目しながら、ゼミ生それぞれの視点から様々な表現メディアとの関わり方を見出し、映像若しくは、映像にまつわる表現領域における独自の展開を創出して行きます。

近年は、総合的な映像表現のスキルを活かしたプロジェクションマッピング等にも多数取り組んできました。

ゼミの方針としては、既存の価値観には囚われない自由な創作を目指しています。その為には、映像の歴史や文化、理論といった基礎的な前提知識に加えて、独創的な想像力やチャレンジ精神も必要となってきます。

個々の表現や作品性を深める為にも、ゼミ生そ

れぞれが日常的にリサーチをしたり、積極的に意見交換することもゼミの特徴と言えると思います。自分の好きなことを活かした表現をしたい、個性を伸ばしたい、映像やアニメーションについてもっと理解を深めたい、創作活動を充実させたいという人は、気軽に研究室（133）を訪ねてみてください。今後の大島ゼミの作品にも注目していただけると嬉しいです。



ミステリー × 札幌

開催



平成 29 年 5 月 20 日（土）、紀伊國屋書店札幌本店 1 階インナーガーデンにおいて、北海道情報大学地域連携・産学連携センター主催の公開セミナー「ミステリー × 札幌」が開催されました。紀伊國屋書店で行う、ミステリーをテーマにしたイベントも今回で 4 回目となりました。

セミナーでは、まず、司会の先端経営学科・藤本直樹先生が大学紹介をされました。その後、先端経営学科・諸岡卓真先生が登壇され、「ミステリーを読んで札幌に行こう！」というタイトルで、札幌にまつわるミステリー作品について、「ミステリーマップ」を示しながら、札

幌のどの場所が実際に本（例えば、松本清張作『点と線』など）に出てきたかをユーモラスに紹介されました。

この「ミステリーマップ」は、情報メディア学科の斎藤一先生のゼミ生、中村翔太くん、柴田晋伍くん、平野颯人くん、米谷瑠夏さん、研究生の黒島慧くんが作ってくれたもので、大反響を受けました。「今日この講演をきいた後に、このマップの場所を回って帰れますよ」と諸岡先生がお話されると来場者の方々は、熱心にマップを見ておられました。興味のある方は、ぜひ、札幌ミステリーマップのサイト (<http://www01.do-johodai.ac.jp/hajime/works/smm/>)あるいは QR コードにアクセスしてこの力作をご覧ください。

続いて、「私の札幌ミステリー」と題して、本学非常勤講師でミステリー評論家・作家の大森滋樹先生と情報メディア学科の谷口文威先生がそれぞれ登壇されました。思わず読んでみたくなるような熱い語りを受けて、当日設けられた紹介本の販売スペースでは、完売に至った本もあったようです。

そして最後に、自由討議「柄刀一氏に聞く “ミステリー × 札幌”」が行われました。札幌在住の現役ミステリー作家、

柄刀一（つかとう はじめ）先生をお呼びして、ミステリー作品の執筆の裏話などを伺いました。

イベントの様子は、5 月 23 日付の北海道新聞（朝刊）でも取り上げられ、宣伝効果の大きさを実感しました。会場には、お子さんからご年配の方まで幅広い世代の方々が、約 80 名も参加してくださいました。今回は、会場のみなさまに質問用紙をお配りしたのですが、予想以上にたくさん記入してください、先生方も嬉しい悲鳴をあげておられました。

また、セミナーのお手伝いとして、先端経営学科 4 年生の渡邊大輔くん、3 年生の村上悟くんの 2 名が、当日の会場設営、ビラ配り、来場者数のカウントなどに進んで取り組んでくれました。

来年は、どのようなミステリーのテーマで開催するのか。それは来年までの謎として乞うご期待ください。

（先端経営学科 松本紗矢子）



<http://www01.do-johodai.ac.jp/hajime/works/smm/>





平成 29 年 6 月 22 日（木）16 時 15 分から大学 eDC タワー 7 階のゼミ室 25 にて、「第 9 回北海道情報大学図書館賞表彰式」がありました。今回の図書館賞は、感想文・創作文を書いてもらう「文学部門」と図書館を一般の方々に広く使っていただくための企画をする「企画部門」の 2 部門を設定しました。今回は、企画部門の企画内容をプレゼンしてもらうためにゼミ室を利用しました。

受賞結果は、次のとおりとなりました。企画部門は、企画賞は坂下優樹さんの企画、奨励賞は加藤光さん・村上悟さん・佐々木元也さん・井川樹至さんの 4 人による企画でした。なお、文学部門は応募作品がありませんでした。

プレゼンの後、賞状、盾、副賞が授与されました。企画賞の坂下さんの企画は、大学に来てもらう層として中高生を想定し、「司書」の体験を通じて大学図書館、本に興味を持ってもらお

うというものです。息の長い活動を行う企画で、将来へ希望を感じさせるものでした。坂下さんは今回の受賞に関して、次のようにコメントをしています。

「自分に合う本がどんな本なのかは探してみないとわかりません。その本の 1 ページでも、1 文でも、1 行でも好きだと、良いと思えるところがあれば、その本はあなたにとって良い本、素敵な本になります。その好きな本を無料で探せる場所は図書館だと思います。自分は本を読むのが好きで、大学で一番落ち着くところでもあるので、図書館が賑わい、もっと本の種類が増えると嬉しいです。」

一方、奨励賞を受賞した加藤さん達の企画は、「江別市近辺の健康に不安を抱える人たちに今後の生活への指針を示す」ことを目的とし、図書館を利用した様々な活動を行うものです。健康レシピの紹介、奥村昌子先生（本学

医療情報学科）の健康相談会の開催、デイサービスと連携するなど明日にでも実行に移したいと思わせるものでした。

それにしても文学部門への応募がなかったことが悔やまれます。図書委員会としては、創作文の応募を期待していました。最近の学生さんは、SNS などいろいろな媒体を用いて文章を書いているようで、中にはなかなか面白い文章も見受けられます。それを発展させた面白い短編などが出てきてほしいと思っていました。次回の図書館賞に期待したいと思います。

最後に、図書館長へ多大なる協力をしていただいた先端経営学科の坂本先生、企画部門へ学生を導いていただいた諸先生、図書委員の先生方、いつも図書館の運営にご尽力いただいている図書館の事務の方々、今回企画に応募してくれた学生さん達に心から感謝申し上げます。





175cmの長身に真っ白な裾の長いウエディングドレス。花道中央に止まって、新郎を待つ。司会者は、何かを長々と喋っている。ワンピン先生「司会者しゃべり過ぎ！」と、つぶやく。全体にはかなり演出過多であるが、お客さんが楽しめるパーティになっていた。豪華な食事。ショーあり、子供向けのプレゼントがいろいろ楽しい2時間。最後に両家が皆さんに挨拶し、新郎新婦が両親に感謝の言葉と花束を贈り、終了した。出口ではピンピン夫妻がお客さんを見送り。もう一度記念写真を撮ってバイバイ。「明日朝、ホテルに行くから待っていてね！」おー明日！付き合ってくれんだ！と、感激する我々。



(※夫子廟も説明をすると長くなるので、左の写真参照。綺麗でしたよ！)

5月22日(月)【結婚式翌日】晴れ 予想気温30℃】ピンピンが来るまで少し近くの町を3人でブラブラ。Waiterに行き買い物をした。11時にピンピンがホテルに来て「まず、お昼を食べよう！李くん(新郎)とレストランで待ち合わせするから」ということで、フードコートへ。ピンピンはたくさん注文する。そんなに食べられないよ！という、大丈夫！大丈夫！と平気

な顔。みんなで頑張つて食べていると、そこへイケメン新郎・李くん登場！185cm。友達を連れて席に着く。友達もニコニコいい感じの人。それぞれ紹介してくれるピンピン。李くんたちがパクパク残った料理を食べてくれた。

さて、車 Audi A8 Sport line を受け取ったピンピンが私たちを乗せて南京観光。私は「一番高いビルに行きたい！」と言った。前回来た時、南京大学内から見上げていたビルに登りたかったからだ。「オッケー！」とピンピンは走り始めた。このビルは、世界第九高樓「ショップやオフィス、ホテルが入っていて、一番上の階に英国風アフターヌーンティーがあったので入った。下では見上げていた他のビルが今度足下には。南京大学の広い構内も一望できた。満足。



川に架かった歩道橋。ブラブラ出来て気持ちよかった。

その夜、ピンピンパパが歓迎晩餐会を開いてくれた。超豪華な中華料理の店。汪平先生、陳華先生、我々とピンピン夫妻が揃って、豪華本格中華料理をご馳走になった。感謝感謝！そこで、汪平先生に「南京眼に行つて、長江を見てください」と言ったら「川上先生。あれは長江でなく、ほんの端っこの小川です！」と言われた。さらに「向こう岸に見えたのが、小川の向こうの中島で、その向こう数キロに長江は流れています」なんと、小川が石狩川より大きい。向こう岸のように見えた平野が中島ですって？デカさに少しは慣れたと思つていたのに、このスケールの違い！ビックリ仰天であつた。



中央がイケメン新郎・李くん。その右がピンピン、左が友達

そこから長江(揚子江)が見えたので、また、行きたい！とおねだり。「では、南京眼に行きましょう」とピンピン。「南京眼」は長江に掛かる橋が眼のような形の建築で人氣があるという。南京眼は面白い橋だった。広い



南京眼にて

5月23日(火)【結婚式翌々日】日本へ帰る日。初めて、少し雨降り晴れ 予想気温28℃】荷づくりを終えた我々をピンピンが空港まで送ってくれる。朝ごはんに行きましよう！とピンピンは少し離れたカレーショップに案内してくれた。ホテルに帰る。待つていたピンピンパパにニイハオ！金城さんは今日も素晴らしい発音と笑顔です。パパも金城さんのことを見てにっこり。さらに「昨日はシェイシェイ！」(私が聞いてもいい発音だ。こいつは得な性格をしているのにんまり)。パパはデカイパンでスイスイと空港まで送ってくれた。車内で私たちは、今回の招待から、毎日の歓待をしっかりと感謝の言葉で伝え、ピンピンが通訳してくれた。本当に本当にお世話になりました。と、パパはいいんだよ。それより、よく来てくれました的なことを言ってくれたようだ。我々がシェイシェイといっているのを通訳はなかった。(うーん、もしかしたら、違うことを言っていたのかも知れない。)

空港でピンピン親子とバイバイしたあと、搭乗手続き。出国は込み気味ではあったが、すんなりゲートを抜けて、帰路についた。今回、留学生の結婚式に参加出来て、本当に幸せでした。ゼミの卒業生との旅も最高でした。教え子から結婚式に招待されるのも3度目。もうすぐ、4回目となるもうひとりの結婚式も近づいている。みんな！幸せにね！ピンピン！また会おうね！札幌にも来てね。今回行けなかったみんなも会いたがつているよ！

金城さんコメント
ピンピンの結婚式に招かれたので、みんなで南京へ！普通じゃ体験できない豪華なおもてなしを受け、南京を楽しく満喫することができました。日本と中国の文化の違いにもたくさん触れ、卒業後も友人関係が続いています。そのおかげで今回貴重な体験をすることができたので、本当に良かったと思います。みなさんも、国境を超えて大学に学びに来ている留学生たちと、積極的にお話して交流してみてください！きつと素敵な友達になれるはずですよ。

長澤くんコメント
ゼミの先輩でもあり同期でもある中国人留学生の友達ピンピンから結婚式に招待されました。日本の結婚式とは全く違い、ディナーショーのようで圧巻でした。結婚式の他、南京観光の手配をしてくれたり、食事を用意してくれたり、至れり尽くせりでした。中国に行く機会はなかなか無いのでとても良い経験でした！きつかけを作ってくれたピンピン、本当にありがとう！

昨年の7月11日のことだった。メッセンジャーに周 耘冰（しゅう うんひょう、ニックネームはピンビン）さんからのメッセージが入った。「先生。私は結婚します。日程が決まったら是非南京に来てください。招待します」とあった。私は即座に「ピンビン！おめでとう！来年のスケジュールを調べて、何が何でも行くよー」と返した。

このメッセージは私をはじめゼミの同級生が共有しているフェイスブックに送られていた。これに対して返信メッセージがたくさん入っていた。

1年先輩の金城さん、原田さん、江本さん。同級の池澤さん、白井さん、小林さん、長澤くんが「おめでとう」という言葉と、「出席したい」と返信していた。これは楽しい団体ツアーになるな！と、私は期待していた。

実は周さんは、1年入学の留学生だったため、1年生からの同級生がいる。そして、3年生になろうとしていた2012年に3.11東日本大震災が起こり、ご家族が心配し1年生の休学をとっている（正確には2年生で退学、1年後に3年生に復学）それで、1年後輩といっしょに3年生となり川上ゼミ所属となっていたので、当ゼミには仲のいい4年生と、一緒に入った3年生がいるという、2年分の同級生がいるのである。

今年の2月28日に待ちに待ったメッセージが来た。「私の結婚式は5月21日です〜。先生のスケジュール大丈夫ですか？」

5月21日は日曜日だ。土曜日に出て、火曜日に帰るコースを想定した。月曜日は授業なし。火曜日はゼミがあるが、ゼミの先輩の結婚式なので、現役ゼミ生には振り替え授業で納得してもらえらう！よしよし。

現実には日程が決まると、社会人となっている同級生達は、なかなか休みが取れないという現実。「行きたいけれど残念！」という連絡が多い。出席が確定したのは私を含め1年先輩の金城奈々子さん、同級生の長澤達也くんの3人となった。

かねてより、メンバーが決まったらパスポートの画像を送ってください。とあったので、3人の画像を送った。

「札幌からの直行便は、日程にあわないので、関西国際空港から南京往復で航空券を確保しました」。続いて飛行機時間が書いてあった。「札幌から関西までの航空券はそちらでお願いします。関空まで来て、中国東方航空のカウンターにパスポートを出してください。あとは大丈夫です。南京のホテルもついであります。では、当日、南京空港まで迎えに行きます！」

私は新千歳⇄関西国際空港のチケットを用意した。国際交流室の陳くんから、中国の結婚式の情報やご祝儀の相場情報などを得た。2人に連絡してご祝儀の相場を伝え

記念品としてゼミでの思い出を、たくさん写真でデザインした「メッセージパネル」を作る事になり、金城さんが引き受けてくれた。これで準備オッケーである。

5月20日（土）【結婚式前日】我々3人は、新千歳から関西に着いた。留学生の間で「白石のお母さん」と呼ばれ、留学生をお世話していただいている村上さんが一緒だった。中国東方航空のカウンターにパスポートを出したら、すぐに荷物を引き取ってくれ、席のリクエストが聞かれた。これで搭乗できることがわかって安心した（簡単すぎてビックリ）。

村上さんが「ピンビンのご主人は中国東方航空のパイロットだから、心配いらないですよ」と教えてくれた。さて、出国だ。免税ショップングをしていると搭乗時間となり中国東方航空の機内へ。私は二度目の南京。金城さんは中国本土は初めてだが、昨年台湾には社員旅行で行っているという。長澤くんは初めての海外旅行だ。南京20時45分（時差+1時間）機内食をいただきながら安定したフライトだった。

南京空港に着くと、ゲートの外でピンビンが手を振っていた。みんな1年くらい会っていなかったので嬉しい再会だった。そして、隣にはピンビンパパが。噂に聞いていたとおりかっこいいパパだ。再会の挨拶と感謝の気持ちを伝え、駐車場へ。みんなの荷物を積める大きな車で高速道路をスイスイ走って南京市内へ。初めて南京を見る二人は興味津々の眼差し。やはりこの景色は中国独特のものがある。ましてや、懐かしい街並みと高層ビル群の組み合わせは、近代中国の勢いをそのままに旅人を惹きつけてやまない。

パパの運転するバンは、南京中央のノボテルへ。ピンビンは「明日は、私の結婚式なので申明（シンゲツ）卒業生が10時に迎えに来るから、バスと一緒に市内見学して、その後結婚式に来てね。おやすみなさい」と帰って行った。

我々は、無事の到着を祝して免税店で買い込んだシーバスリーガルと「チョーヤの梅酒」で乾杯し、それぞれの部屋で眠りについた。

乾杯しながら、私と金城さんが借りてきた海外SNSでは「We」などのSNS系がつかないが、長澤君のローミングではつながることが判明。すぐにローミングとデザリングに変更。その瞬間から、我々と、今回来られなかった池澤千草、小林礼佳と新婦ピンビンの「No.1グループ」南京報告しちやいます」にメッセージやスタンプがジャンジャン飛んできて、自称スマホ中毒の金城さんはようやく平靜さを取り戻した。

5月21日（日）【結婚式当日 晴 予想気温32℃】。

ロビーで申明さんと再会。卒業してから三年が経っていたが、全然変っていない。隣にはボーイッシュな友達のチャオチャオちゃん。彼女は今年9月から英国に留学するドラマのディレクターを目指している学生だという。英語で喋りかけてくるのでコミュニケーションができる。申明さんはまだまだ日本語が上手だ。申明チャオチャオの案内で、南京プラプラしてバス待ち。迎えるバスでは今日の結婚式に出席する南京以外から来ているお客さんと同乗。挨拶をして車内へ。みんな楽しそうだ。金城さんはシイエイシイエの発音が素晴らしいと褒められていた。

（※観光で、牛首山という超壮大なお寺を見学）さて、「どんな服を着ていくの？」との問いに、申明さんが「私たちはこのまま行きますよ」と、短パンTシャツ姿で言うので「ドレスとか着ないの？」と聞くと「誰もそんな服装しませんよ」と言う。我々はスーツとドレスを用意していた。「私たちだけ浮くんじゃない？」と、金城。「じゃーやめよう！カジュアルで行こう」となった。

申明チャオチャオの案内で、またプラプラ。壮大な地下街などを通過して結婚式会場の金陵ホテルに到着。

金陵ホテルは豪華！受付にご祝儀と記念のメッセージパネルを渡した。見ると、ピンビン夫妻がみんなと記念写真を撮っていた。みんなカジュアル！よかった！我々も「おめでとう！」とピンビン夫妻と（新郎が超かっこいい！）記念写真。

会場奥には大きなステージ。ここで、もうすでに外国人バンドがバラードを演奏し歌っている。

入り口近くで「川上先生！」と呼びかけられる。汪平先生（ワンピン、南京大學外国語学院院長）だ。久しぶりの再会にハグハグ。「こっち、こっち」と席に案内してくれる。隣には汪平先生の奥様と背の高い陳華先生ご夫妻。留学生のご両親たち。汪平先生が通訳してくれる。おかげで楽しく会話できた。金城さんたちの席には申明とチャオチャオ、そして情報大学を卒業した留学生たちがいた。こちらでは日本語が飛び交っている。

そして、いよいよピンビンの登場！「ワー！かっこいい！」



学校法人 電子開発学園 平成28年度決算の概要

平成28年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせいたします。

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

1. 資金収支計算書

平成28年度の収支状況を資金収支計算書により資金の流れを予算と決算で比較します。

(1) 収入の部

学生生徒等納付金収入が1百万円増加、補助金収入が13百万円増加、受取利息・配当金収入が8百万円増加、雑収入が1百万円増加、学費前受金収入が37百万円増加、その他の収入が18百万円減少しました。収入の部合計は92億93百万円となり、21百万円の収入増となりました。

(2) 支出の部

人件費が6百万円増加、教育研究経費及び管理経費が44百万円減少、施設関係支出は4百万円増加、その他の支出が38百万円増加しました。翌年度繰越支払資金は48億95百万円で49百万円増加し、支出の部合計は92億93百万円となり、21百万円の支出増となりました。

2. 事業活動収支計算書

平成28年度の事業活動状況を事業活動収支計算書により「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つの事業活動に区分し、それぞれの収支状況を予算と決算で比較します。

「教育活動収支」

(1) 収入の部

経常費等補助金で11百万円増加、学生生徒等納付金、手数料、雑収入で2百万円増加となり、収入合計は38億55百万円で、13百万円増加となりました。

(2) 支出の部

人件費で5百万円増加、教育研究

経費、管理経費、徴収不能額等で47百万円減少となり、支出合計は37億52百万円で、41百万円減少となりました。「教育活動収支差額」は1億3百万円となり、55百万円増加となりました。

「教育活動外収支」

(1) 収入は受取利息・配当金が58百万円で8百万円増加となりました。

(2) 支出は借入金等利息が12百万円で、「教育活動外収支差額」は46百万円で、8百万円増加となりました。「経常収支差額」は1億49百万円となり、62百万円増加となりました。

「特別収支」

(1) 収入は24百万円で7百万円増加となりました。

(2) 支出は23百万円で「特別収支差額」は1百万円となり、7百万円増加となりました。

「基本金組入前当年度収支差額」は1億50百万円で69百万円増加となりました。

「基本金組入額合計」は1億40百万円で70百万円減少となりました。

「当年度収支差額」は10百万円で1億39百万円増加となりました。

「基本金取崩額」は第4号基本金の取崩があり、8百万円増加となりました。

「翌年度繰越収支差額」は10億99百万円で1億47百万円増加となりました。

3. 貸借対照表

平成28年度の財政状態を貸借対照表により本年度末と前年度末で比較します。

(1) 「資産の部」

合計で152億27百万円と前年度末対比36百万円増加しました。

「固定資産」は主に建物本部棟外壁工事、臨床工学実習室工事等で1億15百万円増加、減価償却額で1億65百万円減少しました。

構築物が減価償却額で4百万円減少しました。

教育研究用機器備品が実習室パ

ソコン等購入で83百万円増加、機器備品等の廃棄で5百万円減少、減価償却額で81百万円減少しました。

管理用機器備品が管理用パソコン等購入で1百万円増加、減価償却額で5百万円減少しました。

図書が書籍および電子図書購入で8百万円増加、退職給与引当特定資産が51百万円増加しました。

ソフトウェアが自動書庫管理システム更新で3百万円増加、減価償却額で13百万円減少しました。

これにより固定資産合計101億69百万円で17百万円減少となりました。

「流動資産」は50億57百万円で53百万円増加し、主に現金預金が41百万円増加、未収入金が13百万円増加となりました。

(2) 「負債の部」

合計で29億16百万円と前年度末対比1億14百万円減少しました。

「固定負債」はeDCタワー等の長期借入金が92百万円減少、退職給与引当金が56百万円増加、長期未払金が9百万円増加し、合計27百万円減少となりました。

「流動負債」は未払金が2百万円減少、預り金が55百万円減少、学費前受金が31百万円減少し、合計88百万円減少となりました。

(3) 「純資産の部」

合計で123億10百万円と前年度末対比1億50百万円増加しました。

「基本金」は112億12百万円で固定資産のうち継続的に保持すると判断されるものの額を示す第1号基本金への組入額が1億40百万円増加しました。恒常的に保持すべき資金の額を示す第4号基本金が8百万円減少しました。

今日、私学を取り巻く環境は、学齢人口の減少等により年々厳しくなっています。本学園は、健全な財務体質を維持するために教職員が一致結束して、特色ある教育活動や教育サービスの見直しにより定員確保に努め、また経費節減に取り組み、安定した学校経営を推進する所存です。

1. 資金収支計算書 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

支出の部

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,204,779,000	3,205,778,203	△ 999,203
手数料収入	31,113,000	31,730,020	△ 617,020
寄付金収入	4,400,000	4,194,000	206,000
補助金収入	299,197,000	311,987,517	△ 12,790,517
国庫補助金収入	279,536,000	292,328,000	△ 12,792,000
地方公共団体補助金収入	19,661,000	19,659,517	1,483
資産売却収入	100,180,000	100,453,487	△ 273,487
付随事業・収益事業収入	250,129,000	250,049,663	79,337
受取利息・配当金収入	50,219,000	58,022,846	△ 7,803,846
雑収入	61,835,000	63,327,811	△ 1,492,811
前受金収入	1,408,797,000	1,445,659,317	△ 36,862,317
その他の収入	569,688,000	551,508,139	18,179,861
資金収入調整勘定	△ 1,562,233,000	△ 1,583,548,424	21,315,424
前年度繰越支払資金	4,853,773,000	4,853,772,948	52
収入の部合計	9,271,877,000	9,292,935,527	△ 21,058,527

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,851,984,000	1,858,176,537	△ 6,192,537
教育研究経費支出	1,036,375,000	1,013,360,709	23,014,291
管理経費支出	565,755,000	544,934,774	20,820,226
借入金等利息支出	12,270,000	12,269,393	607
借入金等返済支出	91,661,000	91,660,000	1,000
施設関係支出	111,256,000	114,913,632	△ 3,657,632
設備関係支出	93,052,000	93,160,473	△ 108,473
資産運用支出	611,236,000	610,877,654	358,346
その他の支出	483,644,000	521,390,352	△ 37,746,352
資金支出調整勘定	△ 431,094,000	△ 462,977,113	31,883,113
翌年度繰越支払資金	4,845,738,000	4,895,169,116	△ 49,431,116
支出の部合計	9,271,877,000	9,292,935,527	△ 21,058,527

活動区分資金収支計算書 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

(単位：円)

	科目		金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	3,205,778,203
		手数料収入	31,730,020
		特別寄付金収入	2,057,000
		一般寄付金収入	2,107,000
		経常費等補助金収入	296,842,517
		付随事業収入	250,049,663
		雑収入	62,419,811
		教育活動資金収入計	3,850,984,214
	支出	人件費支出	1,858,176,537
		教育研究経費支出	1,013,360,709
管理経費支出		544,873,274	
教育活動資金支出計		3,416,410,520	
差引		434,573,694	
調整勘定等		△ 67,333,366	
教育活動資金収支差額		367,240,328	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	30,000
		施設設備補助金収入	15,145,000
		施設設備売却収入	453,487
		施設整備等活動資金収入計	15,628,487
	支出	施設関係支出	114,913,632
		設備関係支出	93,160,473
		施設整備等活動資金支出計	208,074,105
	差引		△ 192,445,618
	調整勘定等		17,560,647
	施設整備等活動資金収支差額		△ 174,884,971
小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)		192,355,357	

	科目		金額
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	100,000,000
		退職給与引当特定資産取崩収入	59,384,469
		その他の収入	420,536,869
		小計	579,921,338
		受取利息・配当金収入	58,022,846
	支出	過年度修正収入	908,000
		その他の活動資金収入計	638,852,184
		借入金等返済支出	91,660,000
		有価証券購入支出	100,000,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	110,877,654
その他の支出	その他の支出	472,761,804	
	小計	775,299,458	
	借入金等利息支出	12,269,393	
	過年度修正支出	61,500	
	その他の活動資金支出計	787,630,351	
差引		△ 148,778,167	
調整勘定等		△ 2,181,022	
その他の活動資金収支差額		△ 150,959,189	
支払資金の増減額 (小計 + その他の活動資金収支差額)		41,396,168	
前年度繰越支払資金		4,853,772,948	
翌年度繰越支払資金		4,895,169,116	

2. 事業活動収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,204,779,000	3,205,778,203	△ 999,203
		手数料	31,113,000	31,730,020	△ 617,020
		寄付金	4,360,000	4,164,000	196,000
		経常費等補助金	285,649,000	296,842,517	△ 11,193,517
		国庫補助金	265,988,000	277,183,000	△ 11,195,000
		地方公共団体補助金	19,661,000	19,659,517	1,483
		付随事業収入	250,129,000	250,049,663	79,337
		雑収入	65,899,000	66,502,790	△ 603,790
		教育活動収入計	3,841,929,000	3,855,067,193	△ 13,138,193
		事業活動支出の部	事業活動支出の部	人件費	1,895,913,000
教育研究経費	1,268,500,000			1,246,145,345	22,354,655
管理経費	602,962,000			582,152,482	20,809,518
徴収不能額等	26,060,000			22,447,000	3,613,000
教育活動支出計	3,793,435,000			3,751,980,834	41,454,166
教育活動収支差額	48,494,000	103,086,359	△ 54,592,359		

(単位：円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動外収支	事業収入の部	受取利息・配当金	50,219,000	58,022,846	△ 7,803,846
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	50,219,000	58,022,846	△ 7,803,846
	事業支出の部	借入金等利息	12,270,000	12,269,393	607
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	12,270,000	12,269,393	607
教育活動外収支差額	37,949,000	45,753,453	△ 7,804,453		
経常収支差額	86,443,000	148,839,812	△ 62,396,812		
特別収支	事業収入の部	資産売却差額	0	185,814	△ 185,814
		その他の特別収入	17,424,000	24,039,775	△ 6,615,775
		特別収入計	17,424,000	24,225,589	△ 6,801,589
	事業支出の部	資産処分差額	5,697,000	5,566,510	130,490
		その他の特別支出	17,173,000	17,231,794	△ 58,794
		特別支出計	22,870,000	22,798,304	71,696
	特別収支差額	△ 5,446,000	1,427,285	△ 6,873,285	
	基本金組入前当年度収支差額	80,997,000	150,267,097	△ 69,270,097	
	基本金組入額合計	△ 210,200,000	△ 140,391,904	△ 69,808,096	
	当年度収支差額	△ 129,203,000	9,875,193	△ 139,078,193	
前年度繰越収支差額	1,080,667,000	1,080,666,622	378		
基本金取崩額	0	8,000,000	△ 8,000,000		
翌年度繰越収支差額	951,464,000	1,098,541,815	△ 147,077,815		

(参考)

(単位：円)

事業活動収入計	3,909,572,000	3,937,315,628	△ 27,743,628
事業活動支出計	3,828,575,000	3,787,048,531	41,526,469

3. 貸借対照表 平成29年3月31日

資産の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,169,067,017	10,185,818,351	△ 16,751,334
有形固定資産	6,872,298,688	6,926,777,904	△ 54,479,216
土地	1,725,516,149	1,725,516,149	0
建物	4,344,754,324	4,395,107,036	△ 50,352,712
構築物	55,316,372	59,685,338	△ 4,368,966
教育研究用機器備品	263,825,206	267,749,752	△ 3,924,546
管理用機器備品	32,994,644	37,396,213	△ 4,401,569
図書	445,685,606	438,125,361	7,560,245
車両	4,206,387	3,198,055	1,008,332
特定資産	205,154,410	153,661,225	51,493,185
退職給与引当特定資産	205,154,410	153,661,225	51,493,185
その他の固定資産	3,091,613,919	3,105,379,222	△ 13,765,303
ソフトウェア	28,770,580	38,398,375	△ 9,627,795
有価証券	2,498,000,000	2,498,000,000	0
長期預金	500,000,000	500,000,000	0
その他の固定資産	64,843,339	68,980,847	△ 4,137,508
流動資産	5,057,434,231	5,004,705,201	52,729,030
現金預金	4,895,169,116	4,853,772,948	41,396,168
未収入金	88,157,847	75,022,121	13,135,726
その他の流動資産	74,107,268	75,910,132	△ 1,802,864
資産の部合計	15,226,501,248	15,190,523,552	35,977,696

負債の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	921,308,462	947,867,088	△ 26,558,626
長期借入金	637,420,000	729,080,000	△ 91,660,000
退職給与引当金	236,492,759	180,345,974	56,146,785
長期未払金	47,395,703	38,441,114	8,954,589
流動負債	1,995,056,772	2,082,787,547	△ 87,730,775
短期借入金	91,660,000	91,660,000	0
未払金	411,114,572	413,338,894	△ 2,224,322
前受金	1,445,659,317	1,476,378,897	△ 30,719,580
預り金	46,622,883	101,409,756	△ 54,786,873
負債の部合計	2,916,365,234	3,030,654,635	△ 114,289,401

純資産の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	11,211,594,199	11,079,202,295	132,391,904
第1号基本金	10,908,594,199	10,768,202,295	140,391,904
第4号基本金	303,000,000	311,000,000	△ 8,000,000
繰越収支差額	1,098,541,815	1,080,666,622	17,875,193
翌年度繰越収支差額	1,098,541,815	1,080,666,622	17,875,193
純資産の部合計	12,310,136,014	12,159,868,917	150,267,097
負債及び純資産の部合計	15,226,501,248	15,190,523,552	35,977,696

大学主要行事など <2月1日~6月30日>

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

3月31日付

《教 員》

退職(定年) 学 長 富士 隆
 教 授 中林 秀和
 教 授 古川 正志 (4/1 付特任教授に採用)
 教 授 若松 義男 (4/1 付特任教授に採用)
 教 授 川上 正博 (4/1 付特任教授に採用)
 教 授 山本 哲二 (4/1 付特任教授に採用)
 退職(自己都合) 教 授 喜多 歳子
 退職(任期満了) 特任教授 中村 忠之
 辞 任 医療情報学部長 西平 順 (4/1 付副学長に就任)

《大学職員》

退職(任期満了) 事務局次長 阿部 哲夫
 学生サポートセンター事務室 顧問 外川 藤博
 兼務を解く 教務課長兼国際交流・留学生支援課長 安倍 隆 (事務局次長)
 アドミッションセンター広報室課長 小松田 昭人
 (アドミッションセンター入試企画課長)

《法人職員》

兼務を解く 法人本部財務課長 石川 弘行 (法人本部事務局長)

4月1日付

《教 員》

就 任 学 長 澤井 秀
 副学長 西平 順
 経営情報学部長 谷川 健
 医療情報学部長 佐藤 裕二
 通信教育部長 高井 那美
 教養部長 蔵本 信比古
 学生部長 川上 正博
 入試部長 齋藤 静司
 学習支援センター長 加藤 喜久子
 保健センター長 佐藤 浩樹
 情報センター長 広末 暢
 先端経営学科長 明神 知
 システム情報学科長 内山 俊郎
 医療情報学科長 高橋 文
 情報メディア学科長 向田 茂
 配置換 准教授 齋藤 健司 (経営情報学部 → 情報メディア学部)
 准教授 谷口 文威 (経営情報学部 → 情報メディア学部)
 昇 任 システム情報学科 中島 潤 (准教授 → 教授)
 医療情報学科 齋藤 静司 (准教授 → 教授)
 情報メディア学科 齋藤 一 (准教授 → 教授)

採用(特任) 教 授 古川 正志 (システム情報学科)
 教 授 若松 義男 (システム情報学科)
 教 授 川上 正博 (情報メディア学科)
 教 授 山本 哲二 (情報メディア学科)
 採用(新任) 准教授 本間 直幸 (医療情報学科)
 准教授 金 銀珠 (情報メディア学科)

《大学職員》

採 用 事務局次長 村上 力夫
 会計課 菅原 みづき
 学生サポートセンター事務室 学生課 中道 大樹
 就 任 副事務局長 安倍 隆 (事務局次長)
 教務課 課長代理 岩本 和生 (教務課 課長補佐)
 国際交流・留学生支援課 課長代理 森 一峰
 (国際交流・留学生支援課 課長補佐)
 通信教育部事務部 課長代理 笠羽 弘城
 (通信教育部事務部 課長補佐)
 アドミッションセンター広報室 課長代理 檜物 敏昭
 (アドミッションセンター広報室 課長補佐)
 アドミッションセンター入試課 課長補佐 古賀 朋子
 (アドミッションセンター入試課 課長代理)
 配置換 アドミッションセンター入試課 課長代理 富樫 恵一
 (法人本部東京事務所 所長代理)

総務課 係長 長坂 綾子 (会計課 経理係長)

《法人職員》

就 任 法人本部東京事務所 所長代理 竹森 信之 (株式会社SCC)
 昇 任 法人本部財務課 課長代理 杉下 功
 (法人本部財務課 課長補佐)

◆◆ 主要行事 ◆◆

◇大 学◇

2月 2日(木)~3日(金) 一般1期入学試験
 6日(月)~15日(水) 冬期集中授業
 13日(月) 入学前教育プログラム(仲間作りミーティング)
 16日(木)~22日(水) 追再試験期間
 16日(木) 理事会・評議員会
 20日(月) 大学説明会(東京)
 21日(火) 特別AO入学試験(C日程)
 23日(木)~24日(金) 入学前教育プログラム(学習支援)
 23日(木) 北海道科学技術賞受賞
 24日(金) 保護者の会役員会
 26日(日) 大学説明会
 27日(月) 編入学試験(3次募集)
 3月 2日(木) CDIO ワークショップ
 3日(金) FD フォーラム、
 10日(金) 一般2期入学試験
 16日(木) 学位記授与式
 21日(火) 特別AO入学試験(D日程)、企業・病院説明会
 23日(木) 理事会・評議員会
 24日(金) 教職員送別会
 26日(日) オープンキャンパス
 31日(金) 辞令交付
 4月 3日(月) 辞令交付
 5日(水) 入学式
 6日(木)~11日(火) スタートアッププログラム(7日(金)~8日(土)新入生宿泊研修)
 12日(水) 前期開講
 30日(日) オープンキャンパス
 5月 11日(木) 理事会・評議員会
 24日(水)~26日(金) 春の食生活改善運動(1コイン朝食)
 26日(金) 保護者の会役員会
 28日(日) オープンキャンパス
 6月 9日(金) 学内共同研究成果報告会
 10日(土) 合同試験日
 12日(月) 前期後半授業開始
 16日(金) 全学休講日
 16日(金)~17日(土) 体育祭
 18日(日) オープンキャンパス
 19日(月)~24日(土) 保護者授業参観週間
 23日(金)~24日(土) 南京大外国語学院留学準備クラス聴講生入学試験及び研究生試験
 25日(日) オープンキャンパス

◇大学院◇

2月 10日(金) 大学院入学者選抜試験(2次募集)
 17日(金) 学位論文等 事前審査(再)
 27日(月) 研究科委員会
 3月 27日(月) 研究科委員会
 4月 5日(水) 研究科委員会
 7日(金) 学位論文等 研究計画発表会
 5月 9日(火) 研究科委員会
 6月 2日(金) 学位論文等 中間報告会(9月末修了希望者)
 3日(土) 大学院推薦入学試験

◇通信教育部◇

2月 9日~12日 冬期スクーリング
 17日 平成29年度春期第5回入学者選考
 3月 10日 平成29年度春期第6回入学者選考
 16日 学位記授与式

- 31日 平成29年度春期第7回入学者選考
- 4月3日 前期インターネットメディア授業開始
- 5日 入学式・オリエンテーション
- 5日 平成29年度春期第8回入学者選考
- 10日 前期IPメディア授業放映開始
- 20日 名古屋教育センター 大学見学
- 5月11日 平成29年度春期第2期入学者選考
- 27日～28日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験①
- 6月16日～18日 前期地方スクーリング(1)(札幌、新潟、名古屋、大阪、北九州、福岡、大分)
- 30日～7月2日 前期地方スクーリング(2)(札幌、新潟、東京、大阪、広島、福岡、鹿児島)

◇法人本部◇

- 2月16日(木) 理事会・評議員会
- 3月6日(月)～3月8日(水) 有限責任監査法人トーマツ「平成28年度期中監査」
- 23日(木) 理事会・評議員会
- 5月11日(木) 理事会・評議員会
- 15日(月)～5月19日(金) 有限責任監査法人トーマツ「平成28年度期末監査」

◆◆ 広報活動 ◆◆

< 進学相談会 >

- 2月：北海道 3会場 (函館、名寄、稚内)
- 青森県 2会場 (弘前、五所川原)
- 3月：北海道 3会場 (函館、江別、富良野)
- 4月：北海道 18会場 (帯広(2)、旭川(2)、函館、大樹、札幌(2)、苫小牧、室蘭、花川南、稚内、中標津、小樽、北見、新札幌、静内、釧路)
- 青森県 1会場 (青森)
- 5月：北海道 9会場 (旭川、北見、釧路、名寄、紋別、札幌(3)、函館)
- 青森県 3会場 (弘前、青森、八戸)
- 埼玉県 1会場 (さいたま)
- 6月：北海道 19会場 (伊達、函館、新札幌、森、八雲、知内、中標津、稚内、江差、帯広、釧路、札幌(2)、北見、札幌北(2)、滝川、旭川、名寄)
- 青森県 2会場 (五所川原、むつ)

< 高校内ガイダンス >

- 2月：北海道 2校 (追分高校、白樺学園高校)
- 3月：北海道 3校 (苫小牧中央高校、北海道大谷室蘭高校、函館大妻高校)
- 埼玉県 1校 (浦和麗明高校)
- 千葉県 1校 (敬愛学園高校)
- 4月：北海道 4校 (札幌あすかぎ高校、江陵高校、駒澤大学附属苫小牧高校、滝川西高校)
- 東京都 1校 (昭和第一高校)
- 5月：北海道 7校 (札幌東商業高校、北海学園札幌高校、北星学園女子高校、小樽明峰高校、飛鳥未来高校 [札幌キャンパス]、海星学院高校、南幌高校)
- 青森県 1校 (青森商業高校)
- 埼玉県 1校 (埼玉栄高校)
- 神奈川県 1校 (武相高校)
- 6月：北海道 11校 (札幌龍谷学園高校、旭川実業高校、札幌創成高校、当別高校、旭川龍谷高校、檜山北高校、倶知安高校、札幌光星高校、札幌山の手高校、北海高校、北海道科学大学高校)
- 東京都 1校 (昭和第一高校)

< 高校内進路講演会 >

- 2月：北海道 6校 (旭川実業高校、室蘭東翔高校、旭川大学高校、旭川商業高校、真狩高校、札幌新陽高校)
- 3月：北海道 6校 (江陵高校、札幌東豊高校、鹿追高校、函館商業高校(定時)、稚内大谷高校、美瑛高校)
- 4月：北海道 2校 (札幌英藍高校、七飯高校)
- 5月：北海道 3校 (函館大学付属柏稜高校、札幌英藍高校、札幌山の手高校)
- 6月：北海道 6校 (共和高校、札幌丘珠高校、穂別高校、苫小牧高等商業学校、栗山高校、阿寒高校)

< 高校出張講義 >

- 2月：北海道 6校 (東藻琴高校、津別高校、岩見沢緑陵高校、クラーク記念国際高校[大通キャンパス]、美瑛商業高校、札幌琴似工業高校)
- 3月：北海道 7校 (札幌南高校(定時)、苫小牧中央高校、室蘭東翔高校、旭川明成高校、鶴川高校、旭川商業高校、美瑛高校)

- 5月：北海道 4校 (天塩高校、日高高校、クラーク記念国際高校[大通キャンパス]・[白石キャンパス])
- 6月：北海道 6校 (共和高校、札幌厚別高校、札幌南陵高校、札幌新陽高校、クラーク記念国際高校[大通キャンパス]、中標津高校)

< 高校訪問 >

- 2月：北海道 125校
- 3月：北海道 118校
- 4月：北海道 105校
- 5月：北海道 144校
- 6月：北海道 57校

< オープンキャンパス >

- 3月26日(日) 本学
- 4月30日(日) 本学
- 5月28日(日) 本学
- 6月18日(日) 本学
- 25日(日) 本学

< 大学説明会 >

- 2月19日(日) 本学
- 26日(日) 本学

< 進学資金説明会(保護者対象) >

- 3月26日(日) 本学
- 4月30日(日) 本学
- 5月28日(日) 本学
- 6月18日(日) 本学
- 25日(日) 本学

< 広報室来学者 >

- 2月11日(土) 標津高校(生徒1名、保護者2名)
- 3月17日(金) 青森商業高校(教員1名)
- 4月13日(木) 札幌琴似工業高校(大学見学：生徒32名、教員2名)
- 18日(火) 札幌琴似工業高校(大学見学：生徒36名、教員2名)
- 27日(木) 千歳北陽高校(大学見学：生徒15名、教員1名)
- 5月10日(水) 登別青嶺高校(大学見学：生徒31名、教員1名)
- 12日(金) クラーク記念国際高校[本校](大学見学：生徒101名、教員2名)
- 31日(水) 札幌白陵高校(大学見学：生徒39名、教員2名)
- 6月1日(木) 江陵高校(教員1名)
- 6日(火) 富良野緑峰高校(大学見学：生徒71名、教員4名)
- 8日(木) 白樺学園高校(教員1名)
- 9日(金) ニセコ高校(大学見学：生徒23名、教員2名)
- 15日(木) 江別高校(大学見学：生徒18名)
- 19日(月) 旭川龍谷高校(大学見学：生徒31名)
- 20日(火) 江別市立江別第二中学校(大学見学：生徒29名)
- 22日(木) 室蘭東翔高校(大学見学：生徒27名、教員2名)
- 22日(木) 札幌新陽高校(大学見学：生徒64名、教員2名)
- 23日(金) クラーク記念国際高校[白石キャンパス](大学見学：生徒20名、教員1名)

◇北海道情報大学通信教育部 入学説明会：本学独自◇

- 2月：1会場(東京)
- 3月：3会場(札幌、東京(2))
- 4月：2会場(本学、東京)

◇北海道情報大学通信教育部 合同入学説明会：私立大学通信教育協会主催◇

- 2月：9会場(札幌、仙台、新潟、横浜、東京、大宮、名古屋、大阪、福岡)

◆◆ 国際交流関係来学者 ◆◆

- 3月1日(水)～3月4日(土) タイ国・ラジャマンガラ工科大学タンプリヤ校からのFD委員会講師として招待(1名)
- 4月26日(水) インドネシア・イスラム大学からの表敬訪問(5名)
- 6月5日(月) タイ国・スアンスナングラーチャバット大学からの表敬訪問(30名)
- 20日(火) タイ国・ラジャマンガラ工科大学タンプリヤ校からの表敬訪問(12名)
- 22日(木) アメリカ・ロードアイランド大学からの表敬訪問(1名)

北海道情報大学 平成29年度(2017年度)学年暦

前期 前半授業期間
前期 後半授業期間
集中授業期間
後期 前半授業期間
後期 後半授業期間
他曜日授業
スタートアップ
イベント

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		16	16	16	15	
6	7	8	9	10	11	12
	16	金16	合同試験	合同試験	山の日	
13	14	15	16	17	18	19
				夏集中	夏集中	夏集中
20	21	22	23	24	25	26
	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中	夏集中
27	28	29	30	31		
	追再試験	追再試験	追再試験	追再試験		

8日 金曜授業日
 9日、10日 合同試験
 11日～夏季休業期間
 17日～26日
 夏期集中授業期間
 28日～ 追再試験期間

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					10	
3	4	5	6	7	8	9
	11	11	11	11	11	
10	11	12	13	14	15	16
	12	12	12	12	12	
17	18	19	20	21	22	23
	13	13	13	13	13	天皇誕生日
24	25	26	27	28	29	30
	14	14				
31						

27日～冬季休業期間

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					追再試験	追再試験
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
	敬老の日			STP	①	秋分の日
24	25	26	27	28	29	30
	①	①	①	①	②	

～2日 追再試験期間
 ～20日夏季休業期間
 21日 後期STP
 22日 後期 授業開始

1月(平成30(2018)年)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	元日					
7	8	9	10	11	12	13
	成人の日		14	14	14	
14	15	16	17	18	19	20
	15	15	15	15	15	
21	22	23	24	25	26	27
	16	16	16	16	16	
28	29	30	31			
	合同試験	合同試験				

～9日冬季休業期間
 10日 授業開始
 13日、14日
 センター入試
 29日、30日
 合同試験日
 31日～春季休業期間

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	②	②	②	②	11/3振替	学祭
8	9	10	11	12	13	14
学祭	体育の日	③	③	③	③	月③
15	16	17	18	19	20	21
	④	④	④	④	④	
22	23	24	25	26	27	28
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	保護懇
29	30	31				
	⑥	⑥				

6日 11/3の振替休日
 7日～8日 蒼天祭
 14日 月曜授業日
 28日 保護者と教員の懇談会

2月(平成30(2018)年)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中	冬集中
11	12	13	14	15	16	17
	建国記念日	振替休日	追試験期間	追試験期間	追試験期間	追試験期間
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

5日～10日
 冬期集中授業期間
 13日～17日
 後期追再試験期間

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			⑥	⑥	⑥	
5	6	7	8	9	10	11
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	
12	13	14	15	16	17	18
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	合同試験
19	20	21	22	23	24	25
	⑨	⑨	⑨	勤労感謝の日	⑨	木⑨
26	27	28	29	30		
	⑩	⑩	⑩	⑩		

3日 通常授業日
 17日 後期前半授業終了
 18日 合同試験日
 20日 後期後半授業開始
 25日 木曜授業日

3月(平成30(2018)年)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
					学位記	
18	19	20	21	22	23	24
			春分の日			
25	26	27	28	29	30	31

16日学位記授与式

保護者の皆さまから、学生さんのスケジュールや、大学の行事などの日程がわからないとのご意見が多く寄せられてい

ましたので、今回の「ななかまど68号」から、本学の学年暦を掲載することいたしました。保護者の皆さまと学生さん

のスケジュール調整、コミュニケーションにお役立てください。ご意見もお待ちしております。

ななかまど 編集隊

座談会
in カフェレストラン
(eDC タワー内)

vol.68

はじめまして橋本です！今回初めてななかまどの制作に関わったメンバーが座談会に集まってくれたので、感想などを聞いてみようと思います！

橋本「じゃあ今回、ななかまどの編集をやった感想を沙耶から時計まわりに話してください！じゃあお願いします～」

惣田「入学式のページをやりました～。
去年とか一昨年と同じ感じにして桜をいっぱい降らした～！自分でデザインしたのが本当に配られるのが嬉しいなって思いました～！」

橋本「じゃあ次は八重樫くん！」
八重樫「は～い、ミステリーの公開講座のページをやりました。ある程度フォーマットは用意されているけど、そのなかで如何に自分のデザインを組み入れるかというのが、工夫し甲斐があって面白かったです。あと、自分が実際に参加してないイベントでも、こ



途中参加！
高橋 廉(3年)

カメラマン！
高橋 しおり(3年)

ういうイベントをやっていたんだな～と文章を読んで知ることが出来たので良かったと思います。」

橋本「なるほど～！じゃあ林くん！」
林「昨年度の学位記授与式の記事を担当しました。自分なりのデザインで、学位記授与式だから卒業っぽいデザインにしました。」

橋本「次は写真担当しおりちゃん！」
高橋し「えっ！？この会の写真をいっぱい撮ろうとおもいます～！」
※しおりちゃんはななかまど編集には関わってません(笑)

全員「(笑)」
橋本「次！みさきちゃん～」
新松「は～い、ワンコイン朝食のページを担当しました。朝食だったので、朝食らしいデザインになるように工夫しました。来年はワンコイン朝食に参加してみたいです！」

橋本「じゃあ、蘭奈！」
清水「宿泊研修を担当しました。文章とかは用意されているから、そのなかで自分のオリジナリティを出すのが難しかったけど、楽しかったです！」

—高橋くん遅れて登場—

橋本「ななかまどを作った感想をお願いします！」

高橋廉「皆でやるのが良かったかな～。
担当ごとに分けて、ひとりで全部やらないで！だから、皆でやるからこそ違うものになるっていうか、同じページがなくて面白かった！…なんでみんなそんなに笑ってるの？(笑)」

橋本「面白い(笑)」
八重樫「やっぱり発言がクサいんだよね(笑)」

全員「(笑)」
橋本「自分の作ったものが印刷されるっていうのは嬉しいよね～！じゃあ皆さん！次回もよろしくをお願いします～！」
全員「お願いします～～！」

座談会参加メンバー

八重樫 光太(3年) 林 勇斗(3年) 清水 蘭奈(3年)
橋本 優花(3年) 新松 みさき(3年) 惣田 沙耶(3年)



Facebook
チェックしてね！



編集隊の活動
随時更新中！

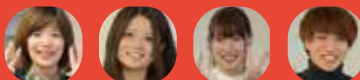
編集隊募集中！

現在もななかまどと一緒に編集してくれる方を募集しております。
学年、学科など何も問いません。

興味ある方はぜひ一緒にななかまどを作りましょう！
興味がある方は、hiu.nanakamado@gmail.com にメールを送るか、
情報メディア学部・川上研究室(228)までお越しください。

座談会 不参加メンバー

吉田(3年) 草嶋(3年) 丹野(3年) 一戸(3年)



山田(4年) 高橋(4年) 小竹(4年) 江良(4年) 諸岡(4年)

